

第2回 GST 委員会 議事録

日時： 2025 年（令和 7 年）10 月 9 日（木）15 時 00 分～17 時 00 分

場所： キャビネット事務局

司会： 田代 俊美

議事録作成： 前田 浩貴

1. 開会

司会の田代委員より開会が宣言され、定刻通り第 2 回 GST 委員会が開催された。

2. 委員長挨拶

GST 委員長 松本 直樹

委員長より、日頃の GST 活動への協力に感謝の意が述べられた。

10 月以降、地域行事や奉仕活動が活発化しており、各クラブ間での連携を深め、優れたアクティビティを発掘・共有することが重要であると強調された。

また、活動を明示的に報告・評価する仕組みを整え、地区表彰に繋げるよう呼びかけがあった。

3. 出席者紹介

出席者の紹介が行われた。

委員長松本直樹をはじめ、佐野圭一（GST コーディネーター）、堀典之（第 1 副地区ガバナー）、各リジョン・ゾーン代表委員が出席した。

4. 挨拶

地区ガバナー 笹部 美千代

地区ガバナーより、日赤献血活動や骨髄ドナー登録などにおけるライオンズクラブの社会的貢献が高く評価されている旨が報告された。

献血需要は依然として高く、若年層を中心とした協力拡大の必要性が強調された。

5. 議事

（1）骨髄ドナー登録説明員セミナー報告

11R・12R・5R・6R など各リジョンで登録説明員セミナーが開催され、座学および実地研修が実施された。11R では 16 名が受講し、グループ連携体制を構築するなど活発な報告があった。

また、ドナー登録説明活動の普及により、県下全域での認知度向上が期待されている。

(2) スペシャルオリンピックス日本について

知的障がい者スポーツ支援活動「スペシャルオリンピックス日本」への支援が報告された。

2025 年 12 月に 30 周年記念大会が開催予定であり、ボランティア協力・寄附等を通じて各クラブの積極的参加が要請された。

競技者の笑顔と成果が地域に希望を与える活動であるとして、クラブ単位での継続支援を確認した。

(3) 次世代リーダー育成セミナーについて

GVD 委員会との共催により、11 月 13 日に「次世代リーダー育成セミナー」が開催予定。

GST としては約 20 分間の発表枠を持ち、社会奉仕の魅力を若年層に伝える機会とする。

特に新しいアクティビティ事例の紹介や、地域連携型の社会貢献モデルを提示する予定である。

(4) 新会員スクールについて

1 月 23 日（大阪北）、1 月 26 日（大阪南）、2 月 13 日（和歌山）の 3 会場で開催予定。

各リジョンからの代表が参加し、GST 委員も協力・報告を行う。

内容は会員の資質向上と、クラブ間交流によるアクティビティ推進を目的とする。

(5) 地区年次大会 地区ガバナー表彰アクティビティ賞について

以下の各項目について応募・推薦が呼びかけられた。

ミッション 1.5 クラブ結成賞

会員増強賞・維持賞

アクティビティ賞（GST 委員会推薦）

LCIF・レモノワ寄附功劳賞

特に、優れた奉仕活動を行ったクラブについては、積極的に表彰推薦を行うこととした。

(6) 複合地区（335 複合）案件

335 複合地区におけるビデオショーケース企画について報告があった。

テーマは「心の健康とケア」「食料支援」「環境保全」の三本柱であり、各クラブが90秒以内の動画を作成・応募するよう呼びかけられた。提出期間や撮影内容の詳細が共有され、参加促進が図られた。

6. 総括

GST コーディネーター 佐野 圭一

佐野コーディネーターより、各リジョン・クラブが実施する奉仕活動の共有・報告の重要性が述べられた。

骨髄ドナー登録・献血推進・社会的支援事業がGSTの三本柱であると再確認された。

7. 閉会挨拶

第1副地区ガバナー 堀 典之

堀副地区ガバナーより、各委員の熱意ある報告に感謝の意が表され、今後も地域社会に根ざした奉仕を推進するよう呼びかけがあり、閉会となった。